

## 新たな長期構想策定の背景及び進め方

### I 現行の長期構想の概要

#### 1 策定の経緯

平成8年の石川県新長期構想策定後、人口減少・少子高齢化の進行や厳しい財政状況など、本県を取り巻く環境の大きな変化及び北陸新幹線金沢開業を視野に入れた新たな施策展開が必要となっていた。

このような状況に的確に対応するため、平成19年3月に改定を行い、目標年次を平成27年度（2015年度）とした。

#### 2 石川の目指すべき将来像と重点戦略

- (1) 時代認識として、「地球時代」、「成熟時代」、「地方創造時代」の3つの視点から、最新の時代の動きや変化を把握しながら、
- (2) 本県の特長として、「地域」、「産業」、「暮らし」の各分野の強みを活かしつつ、課題を克服するために、
- (3) 「個性、交流、安心のふるさとづくり」という基本目標のもと、
  - ①魅力と誇りが実感できる「いしかわ」
  - ②活力ある産業と働きがいがある「いしかわ」
  - ③暮らしやすさが実感できる「いしかわ」
 を目指すべき将来像に掲げた。
- (4) そして、この構想を推進するため、8つの重点戦略と38の施策を設定している。

### II 策定の背景

#### 1 平成19年3月の長期構想改定以降、

基本目標である「個性、交流、安心のふるさとづくり」の具体化に向けた取り組みを着実に進めてきた。

#### 2 現行の長期構想の目標年次を今年度末に迎える中で、

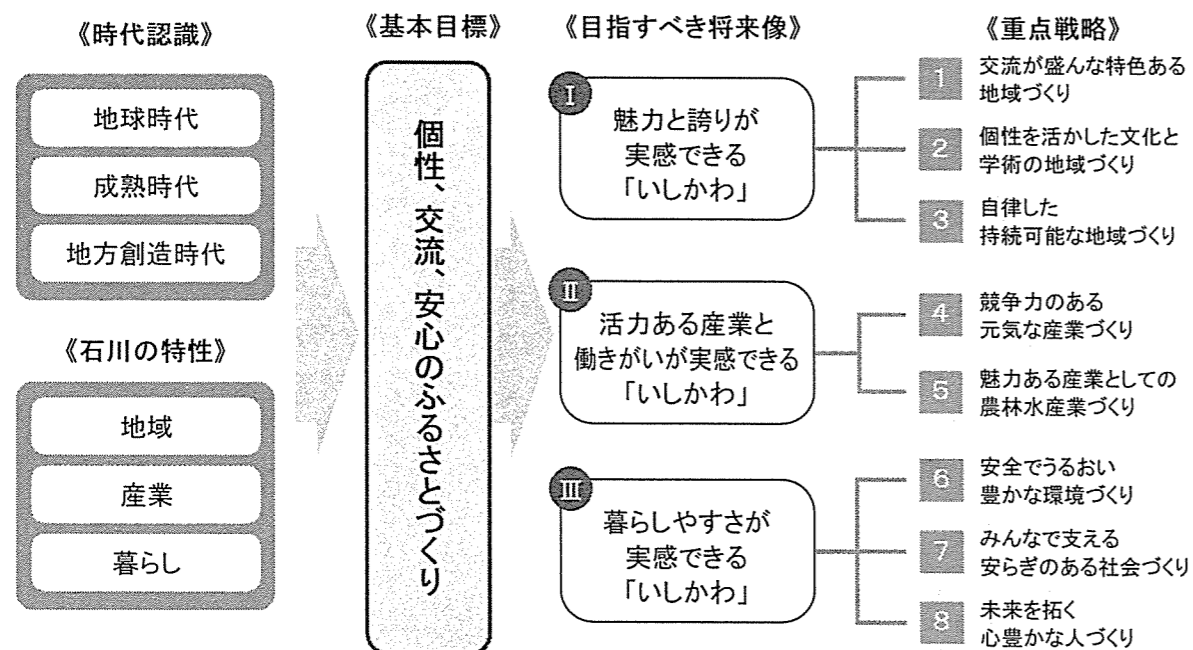
「地球時代」、「成熟時代」、「地方創造時代」といった現行の長期構想の時代認識を引き続き、大事にしながら、

(1) 本県でも、平成17年（国勢調査）を境に人口減に転じるなど、本格的な人口減少時代の到来を見据えた地方創生の取り組みが益々重要となっていること

(2) 本年3月14日の北陸新幹線金沢開業の効果を最大限に引き出し、県下全域に波及させるとともに、その効果を持続・発展させる必要があること

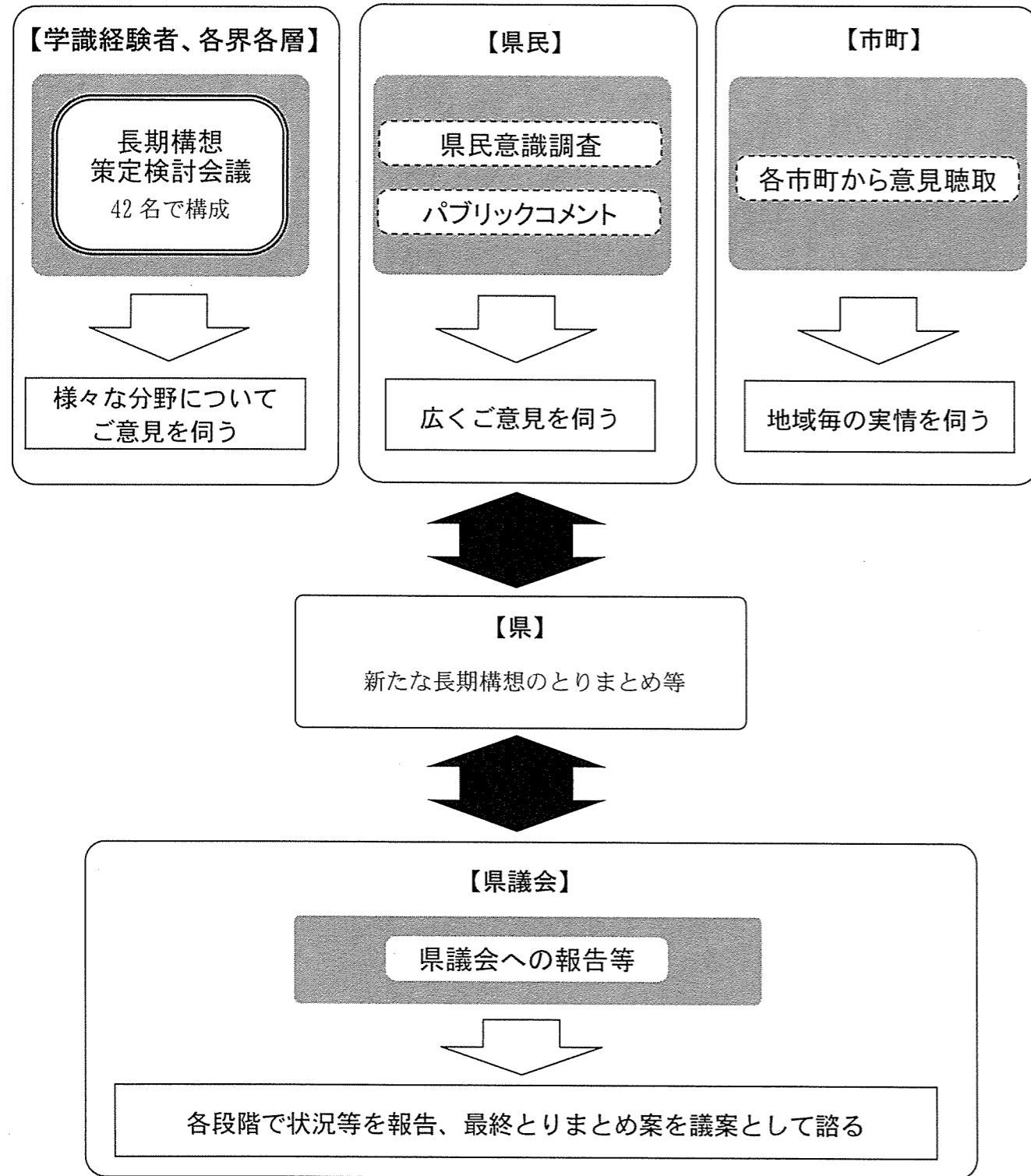
(3) 本県の財政状況は、これまでの行財政改革の成果として、平成24年度以降、基金の取り崩しに頼らない財政運営を行っているものの、高齢化の進展による社会保障関係経費の増加等が見込まれることから、引き続き、中長期的な財政運営が必要であること

など、本県を取り巻く環境の変化を踏まえた新たな長期構想の策定が必要となっている。

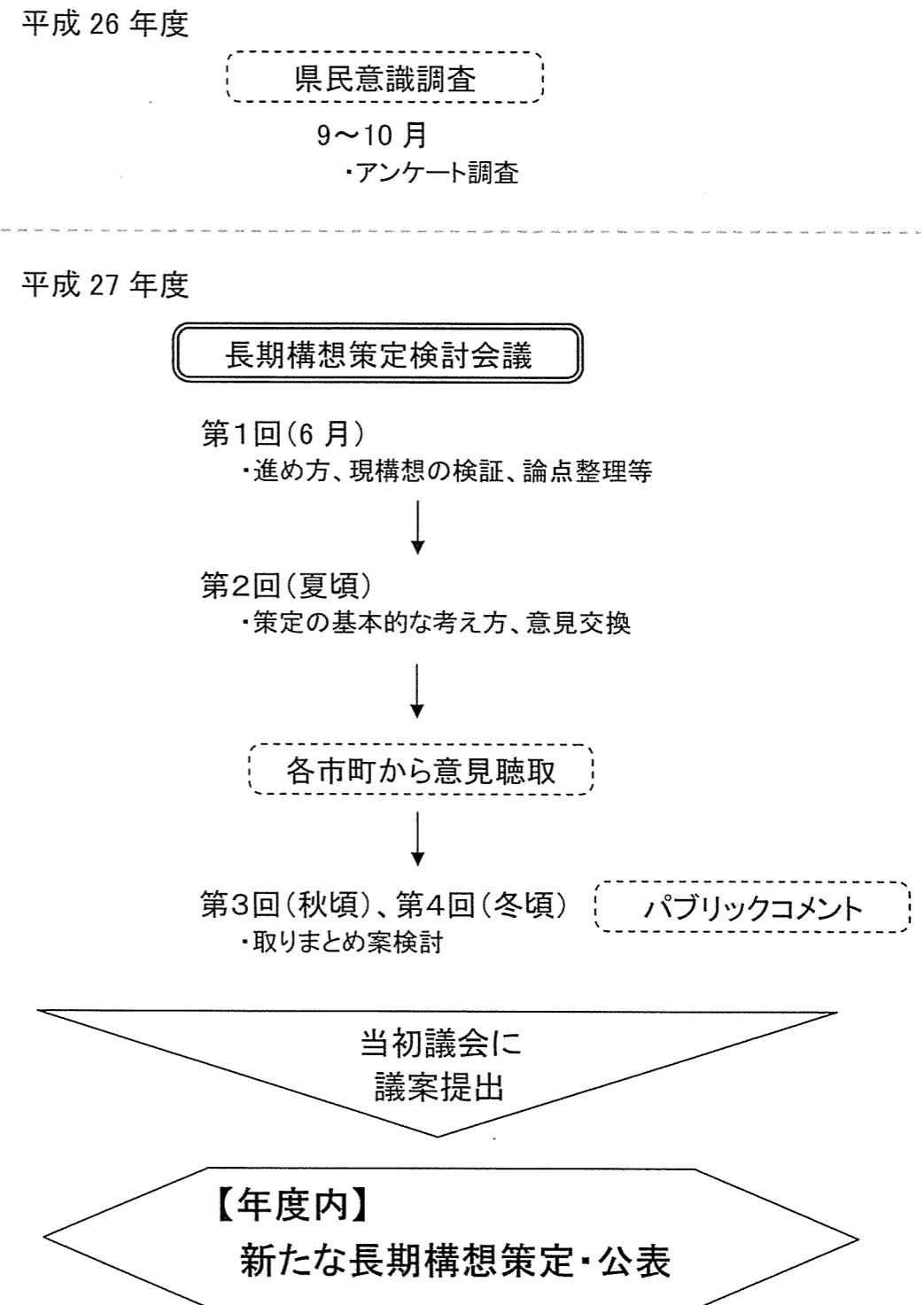


### III 策定作業の進め方

#### 1 策定体制



#### 2 進め方とスケジュール



※別途、地方創生に係る「人口ビジョン」及び「総合戦略」の策定に向け、「いしかわ創生総合戦略有識者会議」を設け、幅広い分野からご意見を伺っている。